2026年11月14日

報道関係各位

キリンホールディングス株式会社
公益財団法人日本サッカー協会

-イベントレポート-
～ウォーキングフットボールで、被災地に笑顔や“つながるよろこび”を～

熊本地震復興応援
「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド in 八代」
八代市立日奈久小学校で開催

元 SAMURAI BLUE 井原正巳さん、久保竜彦さんが登場

子どもから大人まで幅広い世代が参加し、ウォーキングフットボールを一緒にプレー

井原さん「自分にできることがあれば、これからも力になりたい」

久保さん「参加している子どもたちの笑顔あふれる姿を見て、自分自身も元気をもらった」

キリンホールディングス株式会社（社長　COO　南方健志、以下キリン）と、公益財団法人日本サッカー協会（会長　宮本恒靖、以下JFA）は共同で、熊本地震復興応援プロジェクトとして「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド in 八代」を11月14日（土）に熊本県八代市立日奈久小学校にて開催しました。当日は、元SAMURAI BLUE（サッカー日本代表）の井原正巳さん、久保竜彦さんがゲストとして登場し、子どもから大人まで世代を問わず楽しめる「ウォーキングフットボール[※1]」を通じて、参加者に笑顔が広がりました。



開催地の八代市立日奈久小学校に通う小学2年生の女の子は満面の笑顔で「今日はとても楽しかったです！元サッカー日本代表選手とゴールパフォーマンスを一緒にできて、とても良い思い出になりました」といった感想や、お子さんと一緒に参加した男性からは「外出する機会が減ってしまっていたため、今日のように家族で出掛けるきっかけになるイベントを開催してもらえるのは、とても嬉しいです」といったお話しをいただきました。今後もJFAとキリンは、必要とされる地域で「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」を開催し、ウォーキングフットボールを通じたコミュニティの活性化と、多くの方が笑顔になれる機会を、被災地域に寄り添いながら順次展開していきます。

参考）これまでJFAとキリンは、東日本大震災の復興応援プロジェクトとして、2011年から「JFA・キリン スマイルフィールド※2」、「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド※3」や、2016年からは「JFA・キリン 熊本復興応援 サッカー教室※4」を実施するなど、サッカーを通じて、10万人を超える被災地の子どもたちや地域の人々へ笑顔を届けてきました。

※1 歩いて行うサッカー
※2 岩手/宮城/福島の小学校で6年に渡りサッカー教室を実施。693校、約10万人が参加
※3 「JFA・キリン スマイルフィールド」を子どもから大人まで、地域の皆さんが参加できるイベントへと進化。14会場約9,000人が参加
※4 熊本県内で被害が大きかった地域の小学校で、サッカー教室を4回実施

<当日の様子>

■「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド in 八代」がスタート

元SAMURAI BLUE（サッカー日本代表）の井原正巳さん、久保竜彦さんがゲストで登場！参加者からは大きな歓声が！「今日はウォーキングフットボールを通じて、皆さんと楽しい時間を過ごせればと思います！」

当日は、令和8年熊本地震で被災された八代市立日奈久小学校の、小学1年生から6年生までの児童43名とその保護者の方にご参加いただき、ウォーキングフットボールを通じた笑顔あふれる交流の場となりました。

ゲストとして元SAMURAI BLUE（サッカー日本代表）の井原正巳さん、久保竜彦さんが登場すると、会場は大盛り上がり。井原さんからは「本日は、JFA・キリンの協力により、このようなイベントを開催することができました。皆さんと一緒にウォーキングフットボールを楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願いします！」久保さんからは「久保竜彦です。50歳です（笑）、僕もまだまだサッカーできるので、皆さん今日は全力で楽しみましょう！」とメッセージをいただきました。最後に、熊本県八代市日奈久の名物「日奈久ちくわ」をモチーフにしたご当地キャラクター「ちくワン」も登場。会場が一層盛り上がる中、試合がスタートしました。





■参加者とゲストが一緒にゴールパフォーマンスを披露！ウォーキングフットボールを通じてみんなが笑顔に！

ゲストの2人も各チームに入り、チームみんなで意見を出し合いながら思い思いのゴールパフォーマンスを考え、参加した家族と一緒に喜びのゴールパフォーマンスを披露しました。保護者の男性からは「元サッカー日本代表の選手と一緒にプレーができるなんて、なかなかない機会なので本当に楽しかったです。家族で外出する機会も多くないなかで、子どもたちの笑顔も見ることができて私も元気をもらいました。被災地での人と人の交流が生まれるこのような場をもっとつくってほしいです」といったコメントをいただきました。





■井原さん「自分にできることがあれば、これからも何らかの形で力になっていきたい」





■久保さん「参加している子どもたちの笑顔を見ることができ、とても良い時間を過ごすことができた」





■閉会式で井原さん、久保さんからメッセージ「皆さんが笑顔で楽しそうな姿を見て僕も元気をもらいました」

閉会式では、井原さんと久保さんが、イベントを振り返るとともに、参加した皆さんへメッセージを送りました。井原さんは「私自身もウォーキングフットボールを今日初めて体験しました。子どもたちがみんな笑顔で元気よく本当に楽しそうにプレーしてくれたことが、とても印象的でした。むしろ、私たちの方が皆さんから元気をいただいたように思います。本当にありがとうございました。」と語りました。久保さんは「楽しくてついつい走りたくなってしまうシーンもありましたが、皆さんが楽しそうな表情でプレーしている姿を見ることができ、とても充実した時間でした。今日はありがとうございました！」とコメント、参加者からは大きな拍手が送られました。会場は最後まで温かな一体感に包まれ、笑顔の中でイベントは幕を閉じました。





■キリンホールディングス井上剛輔、元サッカー日本代表 井原正巳さん、久保竜彦さんインタビュー

①本日の「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド in八代」の開催意図を改めて教えてください。
-キリンホールディングス井上
被災地では、今もなお大変な状況が続いている方々がいらっしゃる中で、私たちに何かできることはないかという思いから、今回のイベントを開催しました。サッカーには人と人をつなぐ力があると考えています。こうした活動を一度きりで終わらせるのではなく、今後も継続していくことで、熊本の皆さんをはじめ、日本中のより多くの方々に笑顔や元気を届けていきたいと思います。

②今回初めてウォーキングフットボールをプレーしてみて率直な感想をお聞かせください。
-井原さん
ウォーキングフットボールは今回が初めてでした。僕はディフェンダーだったので、相手からボールを奪いにいきたくもなり、普段のサッカーとは違う難しさを感じましたが、子どもたちと一緒にパスをつないだりする中で、自然と会話や笑顔が生まれるのがすごく楽しかったですね。

-久保さん
「パスして！」と声をかけながら、みんなで協力してプレーできたことも楽しかったです。ゴールを決めた子どもたちのパフォーマンスを見ていると、こちらまで笑顔になりました。何より、子どもたちが元気に身体を動かして楽しそうにプレーしている姿を見られて、僕自身もすごく嬉しかったです。

③今回、熊本でのイベント開催にあたりどのような思いで子どもたちとの交流に臨まれましたか？また、実際に子どもたちと触れ合ってみて、感じたことや印象に残ったことを教えてください。
-井原さん
以前、支援活動で熊本に来させていただいたことがありました。その経験もあり、震災によって大変な思いをされている方々に対して、自分に何かできることはないかという思いがありました。今回、子どもたちと実際に触れ合ってみて、みんなが本当に明るく、楽しそうにしている姿が印象的でした。むしろ、僕たちの方が子どもたちからたくさんの元気やパワーをもらったように感じています。まだまだ大変なこともあると思いますが、自分にできることがあれば、これからも何らかの形で力になっていきたいと思っています。

-久保さん
今回の活動を通して、サッカーには人と人をつなぎ、笑顔を生み出す力があると改めて感じました。ボールが一つあるだけで、年齢や立場に関係なく、みんなが一緒になって楽しむことができます。子どもたちだけでなく、周りにいる大人たちも自然と笑顔になり、その場に一体感が生まれることが素敵だなと思います。

■開催概要

・名称：JFA・キリン ビッグスマイルフィールド in 八代
・日時：2026年11月14日（土）10:30～11:50
・場所：八代市立日奈久小学校 体育館（熊本県八代市日奈久竹之内町4277-1）
・内容：「ウォーキングフットボール」を通じた交流イベント
・主催：公益財団法人日本サッカー協会、キリンホールディングス株式会社
・ゲスト：元SAMURAI BLUE（サッカー日本代表）井原正巳さん、久保竜彦さん